

麦穂だより

第53号

発行 武蔵野手打ちうどん保存普及会川崎 2015年6月
事務局 川崎市高津区下作延 927-19-203 村田芳包 TEL044-865-6380
ホームページ URL (<http://musashinoudon.dokkoisho.com/>)

平成27年度 第15回 定期総会 報告

(とき；平成27年5月17日(日) 11時～12時 ところ；高津高等学校第1会議室)



総会



懇親会

定期総会、会場には昨年同様、黒川634野(むさしの)菜園から刈り取った麦穂の束が展示されました。

定刻11時に開会、事務局長から、会員総数60名中、出席28名、委任状26名ということにより、総会の成立が確認されました。

会長挨拶では、今年は雨が少なく農園では麦が枯れかけているが、収穫はある程度は見込めるとのこと、またうどん塾を開催しなかったからか、うどん会参加者が減っているが、活動をよりきめ細かく実行する必要があることが述べられました。

議長として阿部秀雄氏が選出され、門井事務局長から事業報告、中野会計からの決算報告、島根会計監査からの監査報告は、滞りなく承認されました。

続けて事業計画(門井)、予算案(中野)が提案され了承されました。最後に、今後2年間の役員構成案が提案され、承認されました。

質疑では、この会と黒川634野(むさしの)菜園の関係について質問があり、会計より菜園は会長の個人的活動として行われているが、当会としては適正価格によりその一部を購入していると回答。

懇親会では、先の食べ歩きで行った「むさしのエン座」で販売していたチルド麺「日清生うどん職人武蔵野肉汁つけ」と黒川634野(むさしの)菜園の小麦で作った乾麺の食べ比べをした。結果としては茹で時間の差が大きく優劣不明ということになった。

(細田俊介)

今回をもちまして、退任された門井事務局長、細田幹事・広報部長、永い間ありがとうございました。

また、新しく就任された村田事務局長、吉井幹事・事業部長、返り咲きの江原幹事・広報部長、そして唯一の新役員鈴木幹事よりよろしくお願い致します。

| | | | |
|------|-------|------|-------|
| 名誉会長 | 池田 輝夫 | 幹事 | 吉井 孝大 |
| 会長 | 北條 秀衛 | 幹事 | 江原 光子 |
| 副会長 | 中島 常雄 | 幹事 | 桑畑 祥生 |
| 副会長 | 舘 健三 | 幹事 | 坂本 光弘 |
| 幹事長 | 山田 敏徳 | 幹事 | 鈴木セイ子 |
| 事務局長 | 村田 芳包 | 会計監査 | 島根 正隆 |
| 会計 | 中野 敏雄 | 会計監査 | 橋本つね子 |
| 会計 | 中村 文子 | 顧問 | 藤嶋とみ子 |

活動報告(2015. 2. 1-2015. 6. 14)



第4回うどん講習会



第4回うどん講習会

- 2月 1日 (日) 第2回 麦踏み 参加：5名
- 2月18日 (水) ゆうゆう広場中原講習会
参加：小・中学生9名 指導者：2名
- 2月21日 (土) 遊びの寺子屋 NPO スポーツドリーマーズ 普及活動
会場：中原小学校料理教室
参加：親子15組 他5名 指導者：6名
- 3月 8日 (日) 平成26年度 第4回うどん講習会
会場：高津高等学校料理室
参加：午前18名 午後10名 役員13名
- 4月15日 (水) 第6回 役員会
会場：中原市民館 参加：12名 総会に向けての打合せ
- 5月17日 (日) 平成27年度 第15回定期総会
会場：高津高等学校第1会議室 参加：28名 委任26名
- 6月14日 (日) 麦刈りと脱穀
会場：黒川634野菜園 参加：14名

うどん食べ歩き (石神井編) 報告

穏やかな晴天の下、10時30分に石神井公園駅中央口に20名が集合しました。

待合わせグループの多い中で「武蔵野手打ちうどん保存普及会川崎」と染め抜かれた藍染の旗が効力を発揮しました

駅前商店街を抜けて公園に近づくと桜が五分咲き、柳の新緑と調和して絶好のお花見日和です。

目的のうどん店「エン座」に着いたのが11時。既に8名の先客が受付簿に記入されていて、開店早々の準備もありしばらく待った後に3回に分けられて店内に案内されました。

私は最後の班でしたが、大抵の方は糧うどんを注文されたようです。盛うどんを注文したらサツマイモを細かく切って揚げたかりんとう風のおつまみが供されカリカリと美味しかったです。

茹でたての武蔵野うどんに二色のうどんが二筋、紫芋と小松菜を混ぜ込んで打ったうどんが彩を添えて美しい。麺のコシは強いけれど粉の香りはしない。しかし、のどごしが滑らかで、つゆの味も合格。他の人

の注文した野菜天ぷらを添えて上々の天ぷらうどんでした。

食べ終えた方には、ふるさと館2階の郷土資料展示や隣接の古民家を見学していただいて全員集合。記念写真を撮影して石神井公園内を散歩しました。

所定の場所では、車座になってお花見を楽しむ家族やグループで賑わっていました。

隣接の石神井松の風文化公園の分館で、ゆかりの文学者の交流を示す特別展や再現された書齋、寄贈されたオーディオ資料等を鑑賞後、再び石神井公園に戻り自然が残されたままの遊歩道を経て、石神井池を一周して駅に戻りました。

午後から雨の予報でしたが、降られずに解散。打ち上げの「玉仙楼」参加は12名。店内にいる時間帯に雨が降り、帰りには止んでいました。

気温が上がり1日で満開になった桜を愛で、自然を満喫した石神井公園のうどんでしたが、わが武蔵野手打ちうどんにはかなわないというのが、大半の結論のようです。

(幹事 江原光子)



「梅雨の晴れ間」

～今年の麦刈りと脱穀～

関東地方が梅雨入りした日、畑へ行って驚いた。少し離れた所に見えていた麦が刈り取られて、きれい・さっぱりになっている。

「やられた」不吉な予感が走る。予感のみごとに的中した。5月はあんなに夏日が続き水不足だったのに、梅雨入りとなったら、雨と曇りが交互に続き、なかなか晴れない。

今年は少雨だったので、雨が降り、実が入ったら刈り取ろうと欲を出したのがいけなかった。それでも「梅雨の晴れ間・3日」の天気予報が出た。6月12日～14日である。合間の13日は夏日だそうである。チャンス到来、皆なに声をかける。15人ほどが参加を表明してくれた。今日はガンバローと眼を覚ましたら、何と小

雨が降ってきたではないか。傘マークなんかなかったのに。しかも無情にも、これ以降、3日晴れる日は皆無である。思案六方、せつかく人が集まるので、麦刈りを実施することにする。青シートで覆い、晴れ間をみて脱穀すればいい。(脱穀は4～5人でできる。)案ずるより産むが易し。9時頃より晴れ間が出始める。11時麦刈り完了。青シートと刈った後の畝に麦を並べ、天日干しにし、脱穀の開始を大幅に遅らせて3時とする。3時、脱穀機到着。しかし、完全には乾いていない。機械がトラブルを起こす。だまし、だまし、夕方5時に脱穀終了。翌日から晴れ間をみて、もみを干すことにしたが、その量は去年の4割増しの150kg。皆さん、本当にお疲れさまでした。(会長 北條)



収穫された麦



収穫作業

ウドンウドンウドンウドンウドンウドン あとがき ウドンウドンウドンウドンウドンウドンウドン

2期4年間、文明の利器を自在に操る細田広報部長に代わり、アナログ人間が再登場です。総会後の懇親会で、会員の方々が準備から後片づけまで協力してくださったこと、とても嬉しく感謝しています。

皆様のお力を頼りに続けていきますので、よろしく願い致します。(光)